

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 7 年 4 月 3 日(2025.4.3)

【公開番号】特開 2024-174252(P2024-174252A)
【公開日】令和 6 年 12 月 16 日(2024.12.16)
【年通号数】公開公報(特許)2024-235
【出願番号】特願 2023-89247(P2023-89247)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 3 A

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 3 月 26 日(2025.3.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

抽選の結果に基づいて利益を付与することを可能とする遊技機であって、
前記抽選の結果に基づいて図柄の変動表示を行う図柄表示手段と、
第 1 特定演出と第 2 特定演出を実行可能な演出実行手段と、
前記演出実行手段によって前記第 1 特定演出が実行される割合と前記第 2 特定演出が実行される割合をそれぞれ変更設定可能な演出設定手段と、
前記演出設定手段による変更設定を実行するための操作が可能な設定操作手段と、
前記演出設定手段によって前記第 1 特定演出の実行される割合が変更設定された状況において、前記第 1 特定演出の実行される割合が変更設定されていることを把握可能な表示をする設定情報開示手段と、
前記演出設定手段によって前記第 1 特定演出の実行される割合が変更設定された状況において、前記演出設定手段によって実行される割合が変更設定された演出がいずれであるか明示せずに変更設定された演出があることを把握可能な曖昧表示を表示する設定情報曖昧手段と、
を備え、
前記設定情報曖昧手段は、前記図柄とは重ならない領域に前記曖昧表示を表示可能にしており、
前記設定情報開示手段は、前記演出設定手段によって前記第 1 特定演出の実行される割合が変更設定されているなかで前記設定情報曖昧手段による前記曖昧表示が表示されている場合に、前記設定操作手段による所定の操作を行うことによって、前記第 1 特定演出の実行される割合が変更設定されていることを把握可能にしており、
前記演出設定手段によって前記第 2 特定演出が実行される割合が変更設定されると可動体が動作する可動演出が実行されやすくなり、前記第 2 特定演出が実行される割合が変更設定された状況において特定条件が成立すると前記可動演出が実行されるようにされている
ことを特徴とする遊技機。

30

40

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

50

【補正対象項目名】 0 0 0 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 3 】

【特許文献 1】 特開 2 0 2 1 - 1 9 1 3 6 4 号 公 報

【手続補正 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

10

【 0 0 0 4 】

しかしながら、遊技中に実行される演出はあらかじめ定義された複数の演出から抽選によって選択されるため、遊技者の好みに合わない演出や遊技者の意に沿わない演出が実行される場合があり、遊技の興趣の低下を招くおそれがあった。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

20

【 0 0 0 5 】

本発明は、上記事情に鑑みなされたもので、遊技の興趣低下を抑制可能な遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

抽選の結果に基づいて利益を付与することを可能とする遊技機であって、
前記抽選の結果に基づいて図柄の変動表示を行う図柄表示手段と、
第 1 特定演出と第 2 特定演出を実行可能な演出実行手段と、
前記演出実行手段によって前記第 1 特定演出が実行される割合と前記第 2 特定演出が実行される割合をそれぞれ変更設定可能な演出設定手段と、
前記演出設定手段による変更設定を実行するための操作が可能な設定操作手段と、
前記演出設定手段によって前記第 1 特定演出の実行される割合が変更設定された状況において、前記第 1 特定演出の実行される割合が変更設定されていることを把握可能な表示をする設定情報開示手段と、
前記演出設定手段によって前記第 1 特定演出の実行される割合が変更設定された状況において、前記演出設定手段によって実行される割合が変更設定された演出がいずれであるか明示せずに変更設定された演出があることを把握可能な曖昧表示を表示する設定情報曖昧手段と、

30

40

を備え、

前記設定情報曖昧手段は、前記図柄とは重ならない領域に前記曖昧表示を表示可能にしており、

前記設定情報開示手段は、前記演出設定手段によって前記第 1 特定演出の実行される割合が変更設定されているなかで前記設定情報曖昧手段による前記曖昧表示が表示されている場合に、前記設定操作手段による所定の操作を行うことによって、前記第 1 特定演出の実行される割合が変更設定されていることを把握可能にしており、

前記演出設定手段によって前記第 2 特定演出が実行される割合が変更設定されると可動体が動作する可動演出が実行されやすくなり、前記第 2 特定演出が実行される割合が変更設

50

定された状況において特定条件が成立すると前記可動演出が実行されるようにされている
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の一形態によれば、上記課題を解決し、遊技の興趣低下を抑制することが可能と
なる。

10

20

30

40

50